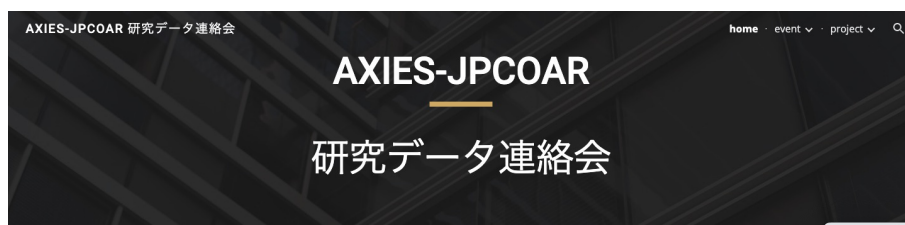


# 学認LMSで学ぶ 「情報基盤スタッフ向けの 研究データマネジメント」

古川雅子（国立情報学研究所）,  
元木 正和（東北大学）,  
青木 学聡（名古屋大学）

# 情報基盤スタッフ向けの研究データ管理教材作成の取組

- AXIES-JPCOAR研究データ連絡会  
(<https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/>)



連絡会について

これからのイベント

これまでのイベント

実施中のプロジェクト

## 連絡会について

研究データ管理(Research Data Management, RDM)とは、「研究の開始から終了までを通じ、どのような研究データを収集・生成するか、そのデータをどのように解析、保存、共有、公開するか、等々を定め、これらを実践すること」です。オープンサイエンスの進展、研究活動の透明性の維持、といった様々な理由で、RDMの課題は、研究者と研究データを中心とし、学術分野、大学等学術機関、さらには政策や市民科学等、社会全体が関与する複雑な問題となっています。

「オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 研究データ作業部会」と「大学ICT推進協議会(AXIES) 研究データマネジメント部会」は、学術機関でのオープンサイエンスの推進と、研究データ管理体制の充実に取り組んでまいりました。「AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会」は両団体が持つ共通の課題の発見と解決を促すことで、学術機関によるオープンサイエンス、研究データ管理体制の更なる発展を支援します。

オープンアクセスリポジトリ推進協会 研究データ作業部会  
大学ICT推進協議会 研究データマネジメント部会

## これからのイベント

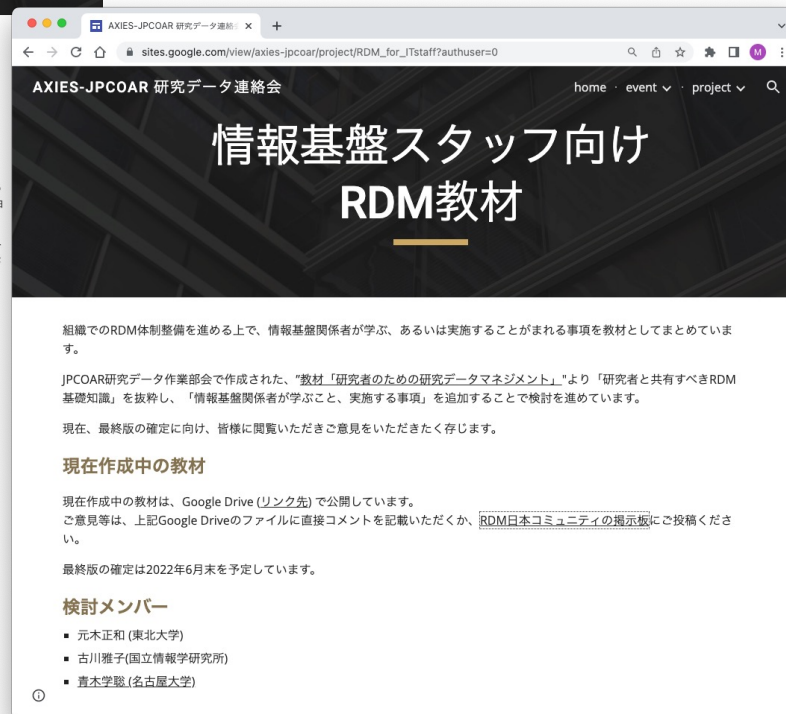
- AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS (第三回)

## これまでのイベント

- 2021/11/30 AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS (第二回)
- 2021/9/28 AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS (第一回)
- 2021/2/19 AXIES-JPCOAR研究データワークショップ

## 実施中のプロジェクト

- RDM事例形成プロジェクト (2019～2021)
- 情報基盤スタッフ向けRDM教材 (2022～)
- 国内大学の研究データポリシー (一覧) (2022.7.25現在)



# 作成の経緯

## ● AXIES-JPCOAR研究データワークショップ

<https://rdm.axies.jp/sig/60/>

AXIES

大学 ICT 推進協議会

・研究データマネジメント部会

HOME

> 部会

> 「AXIES-JPCOAR研究データワークショップ」開催のご案内(2021/2/19開催)

サイト内検索

Q

ホーム

ニュース

イベント

部会サイト

日本語

English

AXIES 公式 Facebook

AXIES 公式 Twitter

部会 SIG

「AXIES-JPCOAR研究データワークショップ」開催のご案内(2021/2/19開催)

この度「オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)研究データ作業部会」、「大学ICT推進協議会(AXIES)研究データマネジメント部会」が共同でワークショップを開催する運びとなりました。両部会は、主に図書館または情報基盤担当の立場から、オープンサイエンスや研究データ管理(RDM)のための環境整備への取り組みを実施してきました。また、2020年7月より「AXIES-JPCOAR研究データ連絡会」を立ち上げ、両団体が相互に連携する取り組みも進めております。

本ワークショップでは、両部会が持つ共通の課題を取り上げ、参加者の皆さんを交えて意見交換を行います。活発な議論を通じ、それぞれの立場から見たオープンサイエンス、研究データマネジメントのあり方について、相互理解を深めるとともに、今後の方向性を見いだそうとするものです。

皆様におかれましては、ご多忙のことと存じますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称:      | AXIES-JPCOAR研究データワークショップ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 開催日時:    | 2021年2月19日(金) 9:30-12:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 開催方式:    | WebEXによるオンライン会議(定員200人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 参加申し込み:  | 下記の google form よりお申し込みください。開催の2日前にオンライン会議へのURLを通知いたします。<br><a href="https://forms.gle/Y6TRJq4AVDfFemGPA">https://forms.gle/Y6TRJq4AVDfFemGPA</a>                                                                                                                                                                                                                 |
| 主催:      | オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)研究データ作業部会<br><a href="https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?base_id=124">https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?base_id=124</a><br>大学ICT推進協議会(AXIES)研究データマネジメント部会<br><a href="https://rdm.axies.jp/">https://rdm.axies.jp/</a>                                                                                                        |
| 問い合わせ先:  | 青木 学聡(大学ICT推進協議会 研究データマネジメント部会 主査)<br>aoki.takaaki[at]nagoya-u.jp (at)をアットマークに読み替えてください)                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| プログラム概要: | 「AXIES-JPCOAR研究データワークショップ」プログラム<br>2021年2月19日(金) 9:30-12:00 オンライン開催<br><br>● 始めに(5分)<br>ワークショップの全体説明を行います。<br><br>● ディスカッションテーマの概要説明(各5分)<br>設定したディスカッションのテーマと各々進め方について簡単に説明します。<br>テーマ1. RDM用語をどのように説明するか<br>テーマ2. 大学におけるRDMを進める一支援組織の活動と連携<br>テーマ3. 大学が保有する研究データの利活用可能性<br>テーマ4. 情報基盤スタッフ向けRDM教材の検討<br><br>● 休憩・セッション移動(5分)<br>参加者は興味を持ったディスカッションテーマの会議室に移動します。 |

### ● ディスカッション(90分)

|                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テーマ1:「RDM用語をどのように説明するか」                                                                                                                                                                 |
| 結城憲司(北海道大学)、高田良宏(金沢大学)                                                                                                                                                                  |
| これまでRDM教材や各種提言等の取りまとめを行ってきた。しかしながら、RDMの用語には平易な言葉でありながら、幅広い解釈を持つものがあり、関係者への説明に苦労すること多い。参加者との意見交換を通じ、RDM用語の共通理解を高めるための方策を検討する。                                                            |
| テーマ2:「大学におけるRDMを進める一支援組織の活動と連携」                                                                                                                                                         |
| 船守美穂(国立情報学研究所)、升井洋志(北見工業大学)、岩井雅史(信州大学)、込山悠介(国立情報学研究所)、平原孝明(国立情報学研究所)、青木学聡(名古屋大学)                                                                                                        |
| 大学におけるRDMの気運が高まっているものの、実際の活動に十分につながっていない。このセッションでは、大学においてRDMを実質的に前進させる上で、図書館や情報基盤センターなどの支援組織の活動や連携、基盤の導入や活用方法、活動を進める上での課題について議論、整理する。                                                   |
| テーマ3:「大学が保有する研究データの利活用可能性」                                                                                                                                                              |
| 南山泰之(国立情報学研究所)、松原茂樹(名古屋大学)、朝原啓太(旧立製作所)、脇昌弘(ソニービジネスソリューション)                                                                                                                              |
| 大学から生成される多種多様な研究データは、どのように整理・保存されることで研究以外の利活用の道が拓けるのか。本セッションでは、企業におけるデータ管理の実際をご紹介いただきつつ、研究データの利活用の可能性を高めるための方策を議論する。<br>話題提供者:<br>夏目哲氏(株式会社ソーコンコンピュータサイエンス研究所)<br>岡山哲也氏(株式会社日立コンサルティング) |
| テーマ4:「情報基盤スタッフ向けRDM教材の検討」                                                                                                                                                               |
| 天野絵里子(京都大学)、元木正和(東北大学)、古川雅子(国立情報学研究所)                                                                                                                                                   |
| 既存のRDM教材を眺めながら、情報基盤スタッフに必要な知識やスキルは何か、今後機関のRDMを進める上で情報基盤に必要な要件やサービスは何かについて話し合い、RDM教材へのフィードバックを考える(情報基盤スタッフとの連携が欠かせない図書館系の方の参加も歓迎)。                                                       |

元木 正和, 古川 雅子, 青木 学聡  
情報基盤スタッフ向け RDM教材の検討@AXIES2021年次大会  
(12/15 幕張)

# 教材「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」

The screenshot shows the JPCOAR (Japan Platform for Open Access Research Center) website. The main content area displays the textbook '教材「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」' (Textbook 'Research Data Management for Information Infrastructure Staff'). The page includes a list of files with their names, licenses, and actions (download, information). The sidebar on the left contains navigation links for various categories like 'インデックスツリー' (Index Tree), '入会申請書' (Application Form), '設立趣意書' (Statement of Purpose), etc. The top navigation bar includes links for '概要' (Overview), '組織' (Organization), '会員' (Members), '参加申込' (Application), 'JAIRO Cloud' (JAIRO Cloud), '連絡先' (Contact), '会議資料' (Meeting Materials), '作業部会' (Working Group), '各種資料' (Various Materials), and '問合せ' (Inquiry).

## <構成>

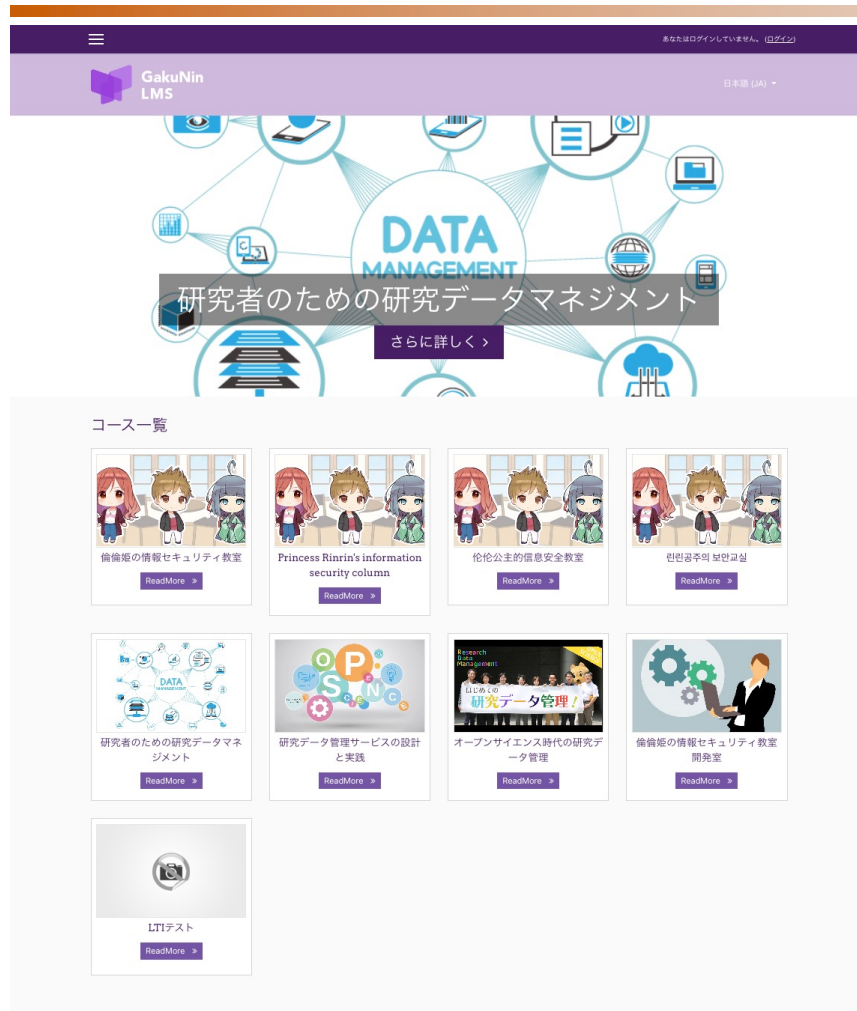
1. 始めに
2. 研究前\_DMP
3. 研究中\_保存
4. 研究中\_収集・分析・整理
5. 研究後\_データ公開

pdfファイル, pptxファイル（ノート付）  
CC-BYライセンス

<https://doi.org/10.34477/0002000210>

# 学認LMS

<https://lms.nii.ac.jp>



- 高等教育機関における共通の教育コンテンツと受講履歴を提供する学習管理システム

- 学認LMSで機関管理者が利用できる各種オプション機能あり

学認LMSユーザサポートサイト  
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/display/GakuNinLMSUsers>

# 学認LMSの研究データ管理講座

## 研究データ管理講座（デジタルバッジ発行）

- 「オープンサイエンス時代の研究データ管理」（旧教材）  
研究データ管理の入門講座としてMOOCで開講した内容を再掲。
- 「研究データ管理サービスの設計と実践」  
研究データ管理支援者向け教材。
- 「研究者のための研究データマネジメント」  
研究支援者としての目線から、大学や研究機関等に所属する研究者の方に向けて作成された教材。  
研究データ管理の場面に応じた12のテーマ。研究者自身が本教材によって必要な知識を得ることを想定。

## 情報セキュリティ講座

- 「倫倫姫と学ぼう！情報倫理」（2022.3まで）  
学認連携Moodle時代からの教材。4言語（日英中韓）対応。
- 「倫倫姫の情報セキュリティ講座」  
倫倫姫+ひかりとつばさを統合し、最新ポリシーに準拠した新規作成教材（毎年コンテンツ追加）。  
4言語（日英中韓）対応。



# 新教材

## 「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」

The image shows a screenshot of the GakuNin LMS interface. The main content area displays the course '情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント' (Research Data Management for Information Infrastructure Staff). The course is divided into four main sections: 0. 概要と背景 (Overview and Background), 1. 研究前 データ管理計画(DMP)の作成 (Before Research: Creation of Data Management Plan (DMP)), 2. 研究実施中 データの保存 (During Research: Data Storage), and 3. 研究実施中 データの収集・分析・整理 (During Research: Data Collection, Analysis, and Organization). A blue arrow points to the '1. 研究前 データ管理計画(DMP)の作成' section, with the word 'Click' written next to it.

On the right side, a video player is shown, displaying the video 'DMPと情報基盤' (DMP and Information Infrastructure). The video content includes a list of items that should be included in a general DMP template:

- 6. 研究プロセス中の保管とバックアップ
- 8. 研究プロセス後の保存・管理
- 9. 公開・提供

The video player also shows the video title 'DMPと情報基盤' and the duration '38秒' (38 seconds).

At the bottom of the page, there is a footer section with the GakuNin LMS logo and contact information:

学園LMSサポート担当  
(国立情報学研究所 学術基盤推進部)  
gakuinin-lms-support @ nii.ac.jp

お問い合わせ  
メール: (ご所属機関窓口へお問い合わせください)

マイクロコンテンツ教材

# 今後の予定

## 2022.12.1公開予定

新規コース



情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント

ReadMore >



内容更新



研究データ管理サービスの設計と実践[2022年度版]

ReadMore >



内容更新



研究者のための研究データマネジメント[2022年度版]

ReadMore >



修了判定テスト → デジタルバッジ発行